

科目名	ソーシャルワークの方法Ⅲ					単位	2.0
担当教員	大橋 徹也						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	3369

●授業のテーマ

グループワーク/コミュニティワークの理論と方法を理解し、臨床の支援に必要な技術を学ぶ。

●到達目標

1. ソーシャルワークで用いられる方法のレポーターであるグループワークとコミュニティワークについて、理論と方法を知っている。
2. 臨床におけるソーシャルワークの展開に必要な技術を説明できる。

●学習内容(授業概要)

前半は、集団を対象にしたソーシャルワークの方法であるグループワークと地域住民を対象したソーシャルワークの方法であるコミュニティワークについて学習する。

後半は、利用者の抱える問題やニーズに即した適切な支援を実践するためにソーシャルワーカーとして必要な技術を学習する。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション/グループワークの概念と定義
2. グループワークの機能と技術
3. グループワークの過程 ①準備期, ②開始期
4. グループワークの過程 ③作業期, ④終結期
5. コミュニティワークの概念と理論
6. コミュニティワークの機能と技術
7. コミュニティワークの過程
過程) ①地域ニーズ把握, ②地域アセスメント
8. コミュニティワークの過程) ③地域計画と実施, ④評価
9. -前半のまとめ-
10. ソーシャルワークの技術 ①アウトリーチと交渉
11. ソーシャルワークの技術 ②スーパービジョンと
コンサルテーション
12. ソーシャルワークの技術 ③社会資源とネットワーキング
13. ソーシャルワークの技術 ④面接と記録
14. -後半のまとめ-
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

出席毎に、①要点の説明と②質問ができるようにしておくこと。

事前学習：各自、テキストの記述を予め読むこと。

事後学習：学習後は、国家試験の過去問で確認すること

個別の課題を与える。適時：レポート提出すること。

●成績評価方法・基準

[単位認定の方法及び基準]

出席条件厳守。積極的な参加と静粛を求める。

オリエンテーションにて説明する。テスト:80%, 参加:10%, レポート:10%。

必要に応じて別途、各段階におけるテストも実施する。

●テキスト（必携）

平成27年2月発行予定（最新版入手のこと）

①新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法Ⅰ第3版,

②新・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法Ⅱ第3版。

上記2冊共に、編集 社会福祉士養成講座編集委員会、発行所 中央法規出版

●参考文献／その他

1. 各自、文献にあたること。

2. 適時、講義において、指示する。

●履修上の注意

オリエンテーションへの出席が必須。

第1回目と第14回目の講義において、出席条件と評価など単位認定に関する事項を確認、理解すること。